京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元二千五百六十九年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

甘茶滋茶

◆勤勉努力を要す

▲「獨乙國民たる者は宜しく黨派の爭闘を排して内國及び世界市場に於て活動せざるべからず獨乙國の目的は内外政策の鞏固なるにあり獨乙國は熱心と勤勉とを以て現時の位置を占有せり故に之を維持するにも亦た熱心と勤勉とを以てせざるべからず」とは獨乙宰相ベートマン、ホルウェッヒ氏が先頃議會に於て試みたる演說の一節なり。余輩は直に移して以て我帝國議會に代議士に告げんと欲す。然も我邦未だ西歐に於て列强と對等の權威を有せず、唯僅に東洋に覇たりと雖も其の光に過ぎずして何は光榮と福利とを增進せしめざるべからざるものあるに於て余輩は益々内閣の慫慂にして外世界の市場に勤勉と熱心とを以て國民の活動せんことを望や切なり。

◆欺罔の罪惜々し

▲米の探檢家クック博士はペアリー大佐に向て非難すると同時に、己れの名譽と功勞とを得んが爲めに材料蒐集を秘し隱くしたりと傳へし發表の期の一日も速ならんを希ひ其の功勞を空しくせざらんことを希ひ居たりしに、何ぞ圖らん外電は其の探檢家にあらずして虛名を博せんが爲め北極の事情に通せる一船長に探檢資料の供給を仰ぎ以て世に公にしたりしものなる事端なくも發覺して甚だしく世の指揮を受くと傳ふ。噫何等の痴恐ぞ。余輩は名を愛するの餘り世を欺かんとせしを惡むと共に害を信ずれば害なきに如かずの感を深うし却て害を編くを恐れんとするに至れり。

◆肉を食ふも慊ず

▲大阪市吏員某々なるものあり。過日の大火に際して慈善家の義捐物品保監の任に當り、窃に之を盜み商人と結托して賣却金に換へ各々多額の金圓を着服して之を酒色の費に供せりと傳ふ。盜賊既に惡むべし、況や監視盜をや、況や市民が不慮の災害に遭うて困厄の苦痛を嘗むるを憫み、義俠の餘になれる同胞慈善家の惠める諸種の物品の監視盜なるに於てをや、又た況や身を空々たる公職に在る吏員等の窃盜なるに於てをや、又た況や之を酒色の肉慾に費やしたるものなるに於てをや、窃盜惡むべし、窃盜惡むべしと雖ども窃盜の惡み何物か之れに加ふるものあらん。噫鳴呼余輩は彼等の肉を屠つて之を膾にし之を臨にして市民と共に之を食ふにあらずんば此の憎しみ遂に癒ゆべからざるなり。

寄書

水道會社に與ふ

旭川

本年初秋虎疫京城に發生し、猖威猛烈を極むるや、防疫當局官憲は之れが傳播蔓延の原因の多くが飲用水の不良にあるを認め、大韓水道會社をして其の共用水栓を開放せしめ、更らに其の及ばざるを慮りて、三浦理事官は水道會社に向つて損害金を提供し個人專用水栓に依る、任意分給水を承認せしめんとしたり、然るに一方水道會社に在りては損害金の多少を論じて肯かざるのみならず、急に監視を嚴にし、專用栓所有者が開放共用栓に遠隔せるより不便を喞てる隣人の爲めに、僅々一二斗宛を分給しつゝあるを檢擧し、需給契約の明文を楯に之れに違約金の提供を強ひ、甚だしく世論の反抗を買ひたるは諸君の記憶に新なる所なりとす。然るに同會社は十一月二十八日共用水道栓の開放契約期間の滿了と同時に從來の營業方針を一變し、特別契約の下に一定の料金を徵して一般市民に給水を爲すことを許し居たりし淸、韓人汲水夫との契約を取消し、新に切符制度を施き、共用栓の開放時間を制限し朝夕の兩度各三十分間宛とし、社員出張して飴屋が子供を集むるが如く笛を鳴らして其開放を四隣に通ずるの組織としたり。開放期間滿了したるを以てこれを閉鎖したるは當然なり、汲水夫との契約を取り消したるも、切符制度に改めたるも必覺營業上の都合より出でたりとすれば是れ又當然と云ふを得べきも開閉時間を午前、午後の兩回僅々三十分間内外に限りたるのみならず、場所に依りては一日一回の給水時間を制宛てたるのみに止めたるものあるに至つては、啻に會社當事者の都合として默過すべき問題ならむや。敢て水道に限らず公共的性質を帶べる事業の經營に從事するものは、其の目的たる收利を計ると同時に一方需用者たる顧客の利便を顧念せざるべからざるは、神の子基督の名に依りて導かるゝバーハム君の知らざる道理なし、然るに渠れが行ふ所は悉く其の主イエスの則を踰ゆるあるを見るを憾みとす。少くも一町に一箇の設置あれば或は如上の給水方法も可ならんも、現在水栓の布置數にては五町を距てゝ尙は此れ無き所あり、五擔を要する家にありては如何ぞ能く其の用を辨じ得んや、斯く云はゞ或は开は專用栓を布かざるが爲めの不便なりと云はんも、斯の如きは文明國人の苟も口にするを恥づべき三百的小理屈と云はざるを得ず。予をして同社の爲めに計らしむれば、切符制度を執ると共に、給水代理部を設置し、水栓開閉器を交附し、自由に汲水に隨せしむるの途に出づべかりしなり、主イエスの御名によりて同社經營者バーハム君に忠告す。

和歌募集

勅題「新年雪」

選者 九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日

本社編輯局

短篇小説 雪の夜(上)

ゆり子

雪にして青樓の灯の煌き哉。中の新地は〇〇樓、表座敷の陽氣に似て、閑寂しきは夫れ媚部屋の、手炙火鉢灰徒らに深うして火もなきを抱きかゝへ、影微暗き五分心のランプを脊後に首を縮め、廊下に響く草履の音に耳聳てゝは、吾が居る部屋の前、行き過ぎる足音に、吐息吐くづく年には老せた思案の首を俯垂るゝ、七つにしては老けたりな、十歳には稚き女兒あり、綿目も分らぬ綿入の垢に光りし襟細く綻びし袖に露はなる肱の白きも寒けなる、白岳下し雪を呼び、雪や夜、夜や雪なる山の峡。

忍び草履の音を窃み、四邊に配る心の裡、痴話に呼りし無理酒の醉ひに波立つ胸先をソッと押へし手の額へ、白き額に青筋の、赤き眼許に笑もなふ、開けし障子を音もなく閉むるも遲し、取り縋るを脛に刎ね退け、片手を腰にツンと拗ねたが水仙の、氷を破りし姿かな。

『アノ母やん、今日はお金ぢやないのんや、父やんが夕刻にから酷う惡いと云ふてゝやで、一寸とで宜ゐから戾つてと……喃母樣……今度はモー父やんはなア……』

堰き上ぐる聲をや呑める唇を嚙めるよ小さく白き齒や、黑眼勝ちなる眼の内に湛ねし涙ハラ〳〵と溢れ落ちたる膝の上。

『喃母やん、妾のう、モウ既うにから待つてるのんやで、喃直ぐに去んで與れんさいや、父やんはモー今度はナア……今度は……と云つてゝやで……』

堪らず顏に袖を當て、泣くに近所を憚りつ。

『初江さんは幾歳だね』

穩かなれど針を褁むか、問は冷やかにして浮べたる笑の寂しさよ。

『モウ確か七歳だつたね、』

廊下に立ち聞く人もやあると、滿身の力眼に籠めて耳を欹つ小半分、

『母さん〳〵と大きな聲で……母さんには今夜お客さんがある……ホヽヽヽホヽンニ大切なお客さんがある、二階の夫れ彼の騷ぎは母さんのお客さんで、又此の家の大切なお客、其のお客さんの有る家で、コレ』

膝を折るなり左手は伸びて、顏を蔽ひし娘の腕に、

『コーレ、來る度毎に母さんとは決して云ふではないと敎へた、妾の云ふ事は分らないのかよ、コレ、お母さんは、遊びに此所へ來てるのではないのだよ、お父さんが重患いのは今初まつたのではないのだよ、妾が這樣稼業も皆夫れからではないのかよ、ヱ、歸つたらば父樣に、母樣の身体は父樣の自由に無論なるのでなし、母樣にだとて同じこと、ソラ惡いから今謝れ、一緒に戾つてお呉れなぞと云はれた義理ではないのですと忘れぬ樣に云ふのだよう」

激聲ながらに力を籠めて、摑みし腕を突き放す、娘は危く火鉢に支へ

『妾が惡いの母や……おやない……アノ叔母さん、モウ云はんけに堪忍して、今夜は一緒に歸んでお呉れや』

手近に落ちし采配の軸よ宙に風を切つて寒さに凍ねし耳から頬へ

『浪江さん、〳〵』

浪江さんとは此の母の名か、返辭はなくて早や立ち上る、膝に縋るを突き退けて。

『五月蠅い兒だねエ。歸つてお寐よ』

姿は早く障子の外、誰れに七歲の稚兒が、敎へられてか忍び音に泣き朽折れし風姿は可憐らし霜の蝦夷菊。

● ● ● ● ● ● ●

雪降ることと愈々急にして、風荒ふことと益々滋し、傘もなく〳〵立ち出でし初江は無情なき母の恨めしく、見上ぐる樓上灯蓋よりも白うして、何を可笑しとてか笑へる母の影法師。笑へる母を見るにつけ、病に泣ける父の上、涙や凍る樓の外、思ひ定めて我が家に運ぶ歩も稚兒の、足には重し下駄の白雪。

廣告

所謂第二次密使

京城新報

想ひ起す、明治三十九年韓太皇帝は韓國をして我邦の保護圏內を脫して獨立せしめんと企て、一外國新聞記者に授くるに委任狀を以てし、以て私に列國の間に說かしめぬ。時の統監府當局者は參政大臣朴齋純を召して之を詰る。朴大臣は答ふるに太皇帝の此の事に與り知らさるを以てし、尙は事の無根を證明せんが爲に、之を官報に載せて事實の取り消しを試みぬ。世界廣しと雖ども何れの國か此の如き滑稽なる廣告の國の官報に揭載せられしものあらんや。韓國が我邦の保護權を遁れんと試むる茶番狂言は實に此に始まりしものにして、世は之を稱して第一次の密使事件と云ふ。而して亞で起り來りしものは即ち明治四十年に於ける所謂海牙密使事件なるものにして、同じく我邦の羈絆を脫せざるべからずと稱して、太皇帝は二たび密使を歐洲に派遣す。之を第二次密使事件と爲す。而して當時の密使は唯一外人に委ぬるも其の効果の著しきものなしと爲し、添ゆるに三韓人を以てせり。陰謀の周密稍々前に優るものありしと雖ども、其の齎らす所は亦た唯一の滑稽嗤笑に過ぎざりしなり。

聞く所に據れば今回一進會が日韓合邦問題を提起したるに際し、二三我邦人が其の裏面に伏在し居たりと云ふを以て、我が政府が韓國併吞の野心ある證據と爲し、歐米列國に告ぐるに這般の事情を以てし、以て豫め列國が若し日本よりして韓國合併の通報に接することあるも、可然之を拒絕せられんことを哀願せしめんが爲めに、竊に三たび密使を海外に出さんとすと云ふ。余輩元より其の事の事實なるや否やを知らずと雖ども、現時韓人の智識の程度より推す時は、彼等が斯る企てを起さゞるべしと斷言することも得ず、況や二回既に顯著なる前例のある有るに於てをや。然れども這般の密使もよし派遣したりとて亦た第一次第二次と同じく唯滑稽茶番の運命に終はるや必せり。何となれば今や列國は既に韓國を見る恰も日本の一部の如くに然り、故を以て韓人が我國の政策に對して云爲する事あるも开は日韓內輪の爭事に過ぎずとして第三者たる列國が耳を傾くべき理由なければなり。若し列國中韓國の密使と聞き名目の美なるに眩して之に携はる者ありとせば开は單に物數奇の一個人に過ぎざるべし。列國政府豈に之を迎ふるの愚を學ばんや。开は兎も角這般の噂にして若し事實なりとせば余輩はまたしても此愚擧が却て日本を利益し韓國をして益々不利の位置に立たしむ韓人の爲に害ありて益なき結果を生ぜしむる事あらんを惜しむ。殷の鑑み遠からず、近く第一第二次の密使事件にあり。而も余輩は唯日本人として事の餘りに滑稽なるを笑ふに止どめ深く事實の有無を糺ぬるを欲せざる也

東京電報

日韓電鐵敷設資金

(日韓)瓦斯電氣株式會社は昨日重役會議を開き電車線路確定資金五十萬圓は借入金を以て支辨すると、決算準備の爲め內藤技師を渡韓せしむる事を議決せり(十五日)

治安警察法の準用

韓國には治安警察法なく各政社を始め個人と雖も自由に政治的行動を逞ふし而も之が取締の方法なきより我當局者は司法權委任權內に於て日本治安警察法を準用し檢事の職權を以て取締を勵行せんと內議中なり(同上)

雜報

伊藤公の追悼會

一昨十四日は故伊藤公五十日祭當日に付日本赤十字社及愛國婦人會兩韓國支部は同日午後六時より京城ホテルに於て連合追悼會を執行したり出席者は石塚長官木內俵小宮の三參與官菊地局長統監府各書記官韓政府各部勅奏任官及び韓國側よりは李俊鎔を始め勅使閔宮相、趙承寧府總管、尹侍從院卿、閔東拓副總裁、李中樞院顧問並に京城居留民長中村商業會議所會頭其他婦人側には日韓愛國婦人會員等無慮二百餘名にして席上公爵の寫眞を安置し其左右に遺墨を揭げ最と莊嚴に拜せられたり石塚長官兩支部を代表して恭しく公爵の遺影に對し追悼文を捧讀し夫れより幻燈を點じ統監としての公爵の英姿を偲ばしめ更に活動寫眞を開始したり活動寫眞は韓皇西韓巡幸に際し陪從の實況太子大磯御訪問の際海岸網引の實景及國葬當日の盛儀等にして就中大磯海岸に於ける寫眞は公爵を始め西園寺侯爵其他十數名の人々太子を伴ひて寄せ來る浪に足を洗はれながら喜々として春の長閑けきを樂まれ或は太子が公爵等と共に投石の競技を試み玉ふ時は渦然たる水聲あるが如く偲ばれ太子を輔育し奉る公爵の温情如何にも床かしく思はず袖を濕ほさしたりき其他西韓巡幸當時の光景の如き造次にも韓皇の御側を離れず敬愛なる公爵の面目躍如たりしは今更ながら韓大官等の感動を惹きたるものゝ如く國葬當日の盛儀に到つては實に今古絕無の盛觀を極め樂隊の吹奏する哀の曲と共に一座肅然爲めに襟を正さしめたり特に吾が兩陛下より御下賜相成りたる御造花が國葬行列の內にありしを拜觀せし時は陛下の御震悼如何ばかりぞと拜せられて恐懼措く能はざりき實に同夜の追悼會は公爵を知ると知らざるとを問はず深き敬意を表さしめたり而して散會せしは午後十時頃也

再び謝罪使運動

伊藤公兇變に對する謝罪使派遣運動は其後終熄を傳へられたるが依然中部大寺洞の事務所に於て續行せられ愈々十八日を以て黃斗英、劉鼎煥、崔在康、許日和、張駿相、崔海奎、宋鶴昇、崔在京、金泰煥、鄭寅炎、鄭廷朝、方福柱、金明鉉の十三名を各道代表として渡日せしめんと聲言し居れり彼等の旅費は銘々百四十圓宛を携帶し謝罪の方法は吾が天皇陛下に上奏し併せて公爵墓前に詣で祭文を捧ぐるに在りと而して之に對する官憲の取締は未だ決定せざるが如し

關稅局の事業調査

關稅局に於ては所管內の行政事情、保稅倉庫の設置及成蹟、條約の範圍に於て稅率適用の整理、淸津港開放後の成蹟如何、隆熙二年に於ては元年に比し輸出入額の減じたるに收入の增加せし理由等につき調査中なるが收入の增加は從來解釋の區々なりし稅率の適用を整理したると最惠國條款の均霑に鑑み之れが輸入稅目表を編纂したるに依るものゝ由にて其他は何れも調査中也

貨幣整理の成績

韓政府は買上、交換、納稅の諸方法を以て舊貨の一掃に努め居れるが今其成蹟を見るに舊白銅貨去る十三日迄の引上高は三億八千二百二十二万個此の價格九百三十八萬三千九百圓又葉錢引上高は十二億二千九百四十七萬個の多きに達せり

●龍山民會開期繰上 龍山民會は既報の如く本月廿日頃開會の豫定なりしも明十六日に繰上げ開會する事となれり議案は豫算更正の件及び會計檢查委員より先月檢查の結果を報告する等而して前記豫算更正の內容は前年度歲入中二千九百圓の未收入に對する補塡方法統監府よりの補助金五百圓の豫算編入及瓦斯會社よりの寄附金五百圓故伊藤公の寄附金百圓採納に關する件等なりと

●本年度使用起業費 韓國政府が毎年起業費として使用し居れる費用は隨分莫大なるものなるが本年一月より十一月までに使用したる總高は治道費六十八萬八千圓、仁川水道七十五万二千圓、平壤水道三十七万圓、印刷局擴張費三万八千圓、鹽田設備費六万四千圓、營林廠費十万圓、韓國銀行百九十八万圓にて殘額の現金として預金せしもの六百三十七万圓ありと

●カード式貿易統計 關稅局に於ける貿易統計は既報の如くカード式を採用する筈なるが愈々來年一月より實施することに確定したる由にて婦人を採用して就業せしむるの計畫あり其の準備としては特種なる排列棚、同簿記臺、舶來計算器を購入し尙ほ之れに充つべき事務室に就きては關

ハリス博士書簡

本書簡は韓國メソヂスト敎派宣敎監督ハリス師が最近に於て東京の菜氏に送りたるものなり

(前略)伊藤公の薨去は意外の椿事にて驚愕の外無之候、日本の心痛左こそと推察仕候、韓國は申す迄も無之世界は此偉人を喪ひしことを哀み居候、願はくは皇天此凶變を攝理し日淸韓三國を結合して一家族となし其國交平和を保ち國運常に隆興せんことを祈る所に候老生は日本が今後も其對韓政策を變せざるべきを深く信じ候、今回兇豎の犯罪は文明國人のともに許さゞる所にして刺客は文明の大敵に候韓國は其偉大なる益友を喪ひしを痛惜し居る事に候韓國の基督信徒並に外國宣敎師は來る

一年間に一百萬の信者

を起さんと奮發致居候、此運動には諸派とも能く一致し何人も神の事業なることを感じ居り申候、諸敎會に於ても先程一週間の祈禱會を開き申候この運動の爲に既に韓國の傳道區域をも定めたる事に候。南美以派は約一百万、美以派は二百万位の人口を占領し、長老派は其殘りを擔當することゝ相成候、其故今後は一人の牧師を二人にて爲すが如き不經濟の事もなかるべく、敎派の競爭も取除かれ、敎會の關柄は極めて親密と相成候、是は確かに主の御業と存じ候、韓國の救は斯の如くにして遠からず完成せらるべしと信じ申候云々。

稅局の樓上と定め目下造作中なりと云ふ

●敎育功勞者表旌式 京城敎育會にては今十六日午後六時より商業會議所樓上に臨時總集會を開き敎育功勞者たる中村再造氏、山口太兵衞氏及び本願寺別院に對し表旌式を擧行する由猶ほ當日は荻野文學博士、今西文學士の講演あり後敎育俱樂部を開きて種々の餘興、談話等ある由

●合併後の韓國鐵道 昨紙所報の如く韓國鐵道合併の官制は一兩日の內發表せらるゝ筈なるが實質に於ては恐らく異なることなく統監の權限も亦從前と同一の由なるが其の權限は覺書として之を規定すべしと云ふ

●博覽會出品物觀覽 統監府樓上に陳列しある日英博覽會韓國出品物は今十六日午後一時より五時迄一般有志者の觀覽を發したるが尙ほ明日も午後一時より四時迄中等以上の各學校生徒に參觀せしむる筈なりと

●韓人官吏の昇級法 韓人官吏は新政以前にありては昇級せらるゝことなく之が爲め各自惡弊多く何等好果なかりしが今回內部に於ては昇級方針を執ることゝなりたりと云ふ

●日韓人雜居と當局 平壤市街は日本人膨脹の結果日韓人雜居にして行政混合の不便あるあり之が共通の必要を感じ居れるが內部に於ては目下地方行政統一上研究の必要有と

●漢城衞生會評議會 昨十五日午後一時より內部大臣室に於て漢城衞生會評議員會を開き榊原憲兵隊長、山形分隊長代理として大橋大尉及び古城民長等も出席したりと云ふ

●軍司令官統監訪問 十四日統監を訪問したる大久保軍司令官は十五日午後〇時半再び統監を問ひ約三時間に渡りて會談する處ありたり

●司法官及典獄會議 昨紙所報の如く十五日午前十一時より統監府司法廳にて司法官及典獄會議を開き倉富長官より一場の訓示ありたり

●憲兵の統計學講習 京城憲兵隊本部にては一月十一日より下士以下の統計學講習會を開始する由

●民長會頭等上京 仁川岩崎民長及び加來商業會議所會頭は昨十五日午後上京曾禰統監を訪問せしが右は仁川築港速成に關する要件を帶てなりと云ふ

●境警視の歸任期 在旅順の故伊藤公狙擊犯人取調の要を帶びて出張中の內部警視境喜明氏は四五日中歸任の筈

●來年度內部豫算 隆熙四年度の地方費豫算は不日認可するに至るべしと

兩共進會と韓國

(小川農商工部事務官談)

明年三月より福岡及名古屋の兩市に於て擧行せらる可き共進會は多數府縣の聯合組織にして其規模其價値相伴ふ可きは疑ふ可からず故に韓國政府に於ては此好機を逸せず韓國の現勢を紹介するの目的を以て出品を企て現に準備中なり而して一般日本人の韓國に對する觀念を觀ふに遠く數千里外に隔在せる外國の如く思惟せるもの今尙は多きを以て此際日韓の地理的關係を說示さるの必要ありとし模型を製作して日本の山口縣及九州の一部を加へ關釜間一夜に逢着し得る現狀を示めし又韓國の全型は縮尺二十萬の一とし山野河川各道の境域著名の都府郡、道路、鐵道、航路、燈臺、電信電話等交通機關の現狀及觀察府、郡衙、裁判所、警察署、財務監督局、財務署、理事廳、郵便局、稅關、日本居留地、日本人經營の農園、漁村並に水產物工產物分布の狀態等主要の事物は悉く表示を以て日韓關係の密接を眼前に彷彿せしめんと欲す尙は之を詳示する爲め土地、戶口、敎育、衞生、農業、商業、工業、水產、鑛業、山林、土木、銀行、金融、貿易、通運、警察司法、財政に關する統計表及圖表を添附し更に出品物としては農產品、水產品、林產品、工藝品、鑛產品を始め京城其他居留地一班並に風俗に關する寫眞數百點にして豫算一万圓を計上し銳意其目的を達せんと準備し居れり而して目下準備の功程は約大半に達せるが明年一月中には全部發送する豫定なり因みに兩共進會に於ける韓國陳列場面積は福岡七十二坪名古屋三十坪なるが兩會とも韓國出品に對し多少の敬意を表し歡迎し居れば其結果は日韓經濟上甚大の成績を擧け得べしと信ず云々

●北韓方面捕鯨成績 東洋捕鯨會社の蔚山及び長箭近海に於ける捕鯨十一月中の成蹟を聞くに蔚山にては白長須二頭長須二十頭を長箭にては白長須一頭長須四十八頭を漁獲したるが同社の韓海從業中の汽船は廿隻にて目下は砲手を日本人四名程使用せるが成蹟は頗る良好の由然して客月中の成績を聞くに第一を占めたるはレックス丸にして砲手をオルセンと稱し十一頭まで射止めたる强者なりといふ

●全羅北道の米產額 最近の調査によれば全羅北道に於ける米產額は八十八萬七千六十三石二斗一升にして一人一年の費消額一石とすれば人口五十九萬七千三百九十三人に對する費消額五十九萬七千三百九十三石差引二十八萬九千六百七十石二斗一升を輸出し得べき計算也と同地通信に見ゆ

●漢江の結氷と交通 去る十三日より漢江は全部結氷(廣州街道なる松坡鎭の渡は急流にして結氷に至らず)して舟運の便は絕へたる由にて當日は華氏零度下十五度を示し之れを例年に比すれば約二十日早しと云ふ因に氷上の交通は今后の天候に依べきも例年結氷后兩三日後よりなりと云ふ

●地方司法官の入城 大邱控訴院長土井庸太郎、平壤控訴院檢事長向井巖、大邱地方裁判所判事松下直美、釜山地方裁判所長島山虎也太、同檢事正吉田雄六郎、平壤地方裁判所長元木直一、同檢事長兼重次郎氏等の地方司法官は何れも一昨日入京せり

●ボージヤ中佐東上 嚮きにキチナー元帥來韓の際出迎として東京英國大使館より派遣せられて不幸京城に於て病魔に犯され大韓醫院へ入院治療中なりしボージヤ中佐は病痾全癒したるを以て昨十五日午前九時南大門發列車にて歸東の途に就きたり

●商船座礁後の處置 大阪商船會社所有汽船福州丸が白翎島に座礁せし由は既報の如くなるが大坂本社より技師急遽來韓し十五日仁川出帆の大信丸にて現場に向ひたるが同技師の見込みに依り相當處置を爲すべしと

●荻田書記官渡歐期 既報の如く統監府荻田書記官は十四日付を以て歐米各國へ差遣仰付られたるが要務は居留民に關する事項調査と日英博覽會に關する件なりと準備整ひ次第出發の筈なれば多分來春早々ならん

●新年の名刺交換會 來一月一日正午京城ホテルに於て例年の通り名刺交換會を開催する筈なるが希望者は本月二十二日までに會費金五十錢を添へ民團役所へ申出づべしと

●地方典獄の入京 釜山監獄典獄山田虎一郎及び平壤監獄典獄三井久陽の兩氏は一昨十四日何れも入京したり

●大久保民長參列 十四日京城に於て執行したる故伊藤公の五十日祭に大久保龍山民長は居留民を代表して參列

●中野課長の歸任 平壤警察署落成式に出張中なりし同氏は十四日歸任す

●藤井辯護士移轉 辯護士藤井太郎氏は南部黎洞二十一統六戶へ移轉せり

●倉富長官の移轉 倉富司法廳長官は西小門內司法廳官舍に移轉したりと

●町田場長の出發 晉州種苗場長町田永五郎氏は十四日出發釜山へ向へり

●仙波支配人入京 韓國銀行安東縣出張所支配人仙波正太郎氏は十四日入京

●荻野重吉氏來京 橫濱正金銀行員の同氏は十四日入京巴州館へ投宿せり

●安武辯護士入京 辯護士安武千代吉氏は十四日入京浦尾旅館へ投宿せり

●群山通信(十三日)

▲工事と暴徒 全羅南道海南より康津長興、寶城、順天及び光陽を經慶南河東に至る三十五里道幅二間一尺二十一萬圓の工事は愈々本月より起工したるが該工事は約一個年間にて竣成する筈なるが之に使用せる暴徒の捕虜は約七八百人にして多少良民も使用すると

▲敎育の調査 明年度にて地方費を基本となし國庫の補助を仰ぎて實業學校を施設せんとの希望を有する者勘からず學部にては之が材料下調べに着手し不日秋山編輯官幅島師範學校敎授を群山、全州、公州、大邱等に派遣すると

▲逐鹿界の消息 群山居留地會議員の選擧は殆んど平穩無事なるべしと豫想されたるが突如前議員森支店長仁川轉任の報傳へらるゝて選擧界俄かに色めきたるやの觀ありて昨今に至り三四の候補者も顯はれたれば今後多少の競爭は免がれざるべしと觀測する者あり

●木浦通信(十三日)

△米穀 流石に時季の事とて米穀類の廻着も漸く盛んならんとしつゝあり之れを前年の同期に比すれば十一月中の廻着高に於て約一倍半の多數にて即ち籾一萬五千五百七十一俵(韓俵)玄米四千九叺中白米千二百八十二叺大豆百卅一叺小豆百七十叺綠豆二十叺

△棉花 引續いての好況なり其の後の出廻高を擧ぐれば二日二百十八個三日三百廿六個四日七百五十九個五日七百廿九個六日五百廿八個七日八百七十二個八日六百卅個九日八百廿七個今日迄の累計二萬八千五百六個にて昨今兩日の分を加算するとせば既に三萬にも達せしなるべく一個平均二百斤と見れば六百萬斤と云ふ未曾有の盛況を告げ市場益々振ふは流石に棉の木浦とや云はんか加ふるに陸地棉本年の豫想は優に四十萬斤ならんと云へば每日の埠頭が棉花を以て埋めらるゝも無理ならじ

▲治外法權▼

故伊藤公の五十日祭が一昨夜擧行された、七十五日迄にはまだ間がある、而るに祭場參列者中には故公爵の顏を幻燈活動寫眞で見てさへ判らぬ程度に忘れて居た者が有つたソーだ▲年末に際し內地と共通的に統監府所屬の官吏達は定期敍位敍勳昇級等の沙汰に接するソーだ、聖世の餘澤難有事にて之だから官吏は止められない▲只茲に遺憾に思はるゝは餘澤が在韓官吏にのみ多くて居留邦人には及ばぬことである、記者は三十九年中故伊藤公に向つて在韓居留民中の韓國經營功勞者に藍綬褒賞下賜の然るべきことを申言したことがあつた、當時公の曰く余もソー思はぬでもない、併し之には多少の調査を要するから直ぐと云譯には行かぬ、何れ其中何とかすることにしようと、爾來年を閱する事四回而かも公は本件に就て何ともせず遂に職を去り世を逝られて仕舞つた、現統監の曾禰子爵は本件に就て何と考へらるにや▲韓國同志會は今度の合邦問題に就て一進會とは何等の關係なしと辨解して居るソーだ、ソレは甚だ卑怯と申すもの、男子一度事を揚ぐ成敗は時の運勝てば官軍敗くれば賊苟くも味方を見殺しにするなどとは以ての外の仕打だ▲釜山の大池は自分所有貸家の屋賃三割を減じたソーだ、京城の家主さん達も大池に見習つてはドーだい▲東京日日曰く李內閣蛇の如く一進會蛙の如く大韓協會蛞蝓の如しと蓋し當れるかな。

吉凶欄 本町五丁目 三一館判斷

十二月十六日舊十一月四日二黑友引庚辰ひらく△一白●不如意の事多し新事業に着手せば損害あり其他常事業に付き共同組合等の事には注意を要す婚姻等凶△二黑●從者家族より禁す△三碧●遺失紛失を防ぎ又人より異常の申込を受くるあり△四綠●義にても面違多し注意を要す△五黃●平靜快欣の日なり大抵の事吉不和の兆あり△七赤●利益あり又勢位を增進する日更に類すること宜し不動產に關する事酒色虛張を戒しむ

●天氣豫報(自十五日午後六時至十六日午後六時) 西北風晴

十四日(華氏) 最高溫度 二〇、五 最低溫度 〇、六



歲末歲始の進物（下）

▲適當品と其價格

▲婦人間の進物　平素親密に往來しつゝある婦人相互間の贈答品としては**折襟形**ショール等適當なる可く一時非常に流行せし毛皮襟卷は昨今漸くすたり氣味となりたるが流行の折襟形ショールはプラシュ地に絹製レース付き襟には毛皮を付して折返せば襟を包むことを得る樣に製しありて色合は茶、鼠、紫、濃納戶等最も歡迎せらる亦**小間物**類では絹製薔薇花簪一本三十錢蝶々形花簪等も相應流行せるが價は三十錢位なりと云ふ

▲家庭向き進物　來年の干支に因める戌の玩具、歌かるた等も先方に小供衆のあれば進物として妙なるべく亦**學生向き**としては博文館發行の當用日記（一部金五十五錢）英文日記（同五十錢）等も實用的にして永久の紀念となりて宜しかるべし其他ハート印鉛筆一打三十錢、米國ヘーパー會社製にて六角形をなせる赤靑兩用鉛筆一打一圓六十錢等は**廉價**にして學生向きには適當なり

▲歐米食料品　家庭に依りては衛生的食料品適當ならん**佛蘭西風製**の菓子フルーツ箱入一箇一圓五十錢乃至五圓ビスケット鑵入七十錢より二圓二三十錢位なり紅茶、角砂糖干菓物等もよろしかるべし

▲諸鳥類の相場　京城に於て諸鳥類の問屋として有名なる南大門通りの有竹商店に就て聽くに本年は例年に比して鳥類の獵獲豐饒にして昨今京龍在住の獵師は未明より漢江の上流其他遠くは二三十里の田舍にまで嚴寒を犯して出獵して幾多の鳥類を打止めて續々京城の市場に送りつゝあるが今其主なる鳥の相場を記せば**鶴**一羽一圓五十錢乃至八圓**鴨**は雄鳥五十錢、雌鳥四十錢位**雁**は六十五錢より一圓二三十錢の間を往來し**雉**三十五錢より五十錢迄にして其他の鳥類も非常に多くして價も比較的格安なれば親しき知己の進物としては最も適當なるべく尙少し運賃を奮發すれば內地の親族知己等に進物として珍しかるべし

其他主なる商店にて**商品切手**を調製して華客の買物に便利を圖りつゝあれば是等は極く親密の間柄なれば其使用範圍極めて廣く至極便利なるべし

韓妻は斯した者

▲亭主の留守にドロン

龍山某官衙に腰辨官吏として名高き何の某（態と匿名）の內緣の妻加來千代（二三）と云ふは生來の淫婦にして未だ十四五の肩上の取れぬ乳臭き時分から男の味を覺えて誰彼の差別なく關係して年頃の娘としてあるまじくも兩親の手前も憚からず巫山戯廻り居たるを遂に親爺から**勘當**を受け一昨年生れ故鄕にも居堪らず京城の知己の某を便りて熊本縣熊本市八軒町七十二番地の我家を飛出して渡韓せしが某は同人の淫奔にして大の惰け者なるに愛想を盡かし其れとなく同居を斷りたるを千代は結局よい幸にして又候京城を出奔して水原に到り同地の魔窟**大阪亭**に酌婦となりて淫賣を稼ぐ內時々同亭に散財に來る某**軍醫**の色好みなるを見て甘く鼻毛を讀み盡したる果が綺麗に前借金を拂はせて土足を洗ひ身は**將校の令夫人**然として約一年が間は面白く可笑く暮しゐたるが根が多情な千代の事なれば軍醫の眼を竊みては日頃出入せる某の**同僚と密通**して樂み居たるを夫軍醫に薄々感付かれトウ〳〵尻尾が現れ相になつたので一日軍醫の出勤せし時を見計らひ多額の金員を竊取し後足で砂を蹴つて京城に舞戾り以前の知己の內に改悛の意を表して厄介となり每日なす事もなく近所近邊を遊び廻り居たるを或物好な男が周旋の勞を取つて前記の**龍山なる腰辨**の內へ生娘として、**輿入**れしたるは遂ひ去る十月なりしが近隣にても不貞のあるだけを盡し居たるが去る九日夫の出勤不在中なるを幸ひ日頃出入の雜貨店より白米下足袋等を取寄せて直に賣却なして金に替へ其の衣類數點並に金五圓を竊取してドロンとも何とも云はず逃走して**行衛不明**となりたるが午後四時過ぎ夫某が一日の任務を終へて歸宅して見れば千代の不在なるに驚き或は京城の世話人の所に行きしならん歟と直ちに人を派して問合せたるに行て居らずとの返答を得て二度吃驚し時宜に依りては其筋へ告訴すべしと敦圉き居れるが千代の不貞や憎むべく夫某の身上こそ憐れにも亦笑止千萬な話なり

警察官凍死せんとす

▲暴風及び寒氣と鬪ふ

仁川署詰巡査米里、清水及び韓人巡査一名は去る十三日管內巡視の歸途龍遊面巨嗅浦より韓船に乘じて仁川に歸航の途次同日午後三時頃時ならぬ暴風に遭遇せし爲め櫓、帆共に破毀し進退不自由となりたるにぞ其儘同所に投錨し居りたるに午後九時頃に至り干潮となりたれば右三名は折柄の冱寒をも物の數ともせず約一里半を隔る泥海を冒して遙かなる島に上陸せんと企てたるが同乘韓人一名は途中寒氣の爲め凍死せしものか行衛不明となり右巡査等は千辛萬苦の末辛ふじてとある島に上陸するを得たるが之れぞ永宗島なるより直に村民の手厚き介抱を受けて其旨仁川署に急報せしかば本署より警官及醫師は稅關ランチに搭乘して同島に急航し一昨夜連れ歸りたるが前記巡査は冱寒を冒して凍れる泥の中を一里半も徒歩せし際凍傷を被り命から〳〵歸仁するを得たる次第なりと

謝告

講談鎭西八郎に續いて邑井一口述に係る**日本銘刀傳**を本日の紙上より登載す可き筈の處內地より發送の日時を誤りし爲め電報にて照會せし處早速送附の手續に及びたる旨返電ありしかば遲くも明日頃着荷する筈なれ共右の次第にて一兩日中絕の止むなきに至りし段茲に愛讀者諸君に謝告す

本社編輯局

●強盜は日本語　仁川牛角洞居住の韓性在方に去る十四日午前三時頃三名の強盜莚圍ひを押破りて屋內に侵入したるが性在の長子秀元と云ふは此足音を聞き附け何客なるぞと聲を掛けしに馬鹿を云ふなど日本語にて脅やかしたる上短銃を一發放ちしにぞ秀元は裏より逃れ出で聲を限りに火事よ〳〵と呼び立てしかば件の強盜は一物をも取得ず何れ共なく姿を隱したりと年の暮れに物騷な事を聞くものかな

●理不盡の大工　北部諫洞四十二統二戶安東中（三七）といふは日本語に巧みなる所から曾て獨立門通り二丁目大工職石川久米吉方に韓語通譯として雇はれ居たるも石川が給金を支給せざるに依り不滿を抱きて無斷にて他に雇はれ居たるが去る十二日午後八時頃大和町二丁目に於て兩人は圖らず邂逅したるに石川は突然安を毆打し居邊に微傷を負せたる騷ぎに安は無念遣る瀨なく昨日南部署に告訴したり

●大阪で落した金　原籍福岡市大工町十六番地武內茂助といふは本年三月頃大阪府南警察署管內に於て金八十圓を遺失し其旨屆出置きたる處其后該金員を拾得して屆出でたる者あるも遺失者の現住所判然せず風說に據れば同人は其後京城韓國官廳に奉職せるやの噂ありたれば南警察署は當地內部警務局に移牒して搜索方申來りしかど未だ同人の住所不明なれば心當りの者は至急其筋へ申出でられたしと云ふ

●只飲み二人男　去る十二日午後九時過ぎ南山町四丁目藪蕎麥屋方へ富山縣生れの倉橋五郎平（二六）と南山町二丁目大橋憲兵大尉馬丁三重縣生れ村瀨宮太郎（三六）の兩人は打連れて日の出町飲食店南海軒事篠原種吉方に於て三圓六十三錢の飲食をなして鐚一文も支拂はず遂に其筋の厄介となつて事濟みたりとは困つた代物

●大道で立廻り　去る十三日午後九時半頃南部仁峴統戶不詳居住徐必孫（五）は道路に於て薪を割り居たるに日の出町廿三番戶居住基長保（三七）が通り掛かり道路妨害なりとて其不都合を詰りたるに遂に口論の果が大喧嘩となりて大道の眞中で兩人組合最中本町派出所巡査現場に驅付け双方を說諭して放還せり

●五雲會素謠例會　來る十九日（第三日曜日）午后一時より本町六丁目有明樓に於て同會第三十六回例會を開催せらるゝ由なるが其の番組左の如し

繪馬（加納氏、ツレ長氏、奥村氏）景清（西尾氏、ヒメ大久保氏、トモ稻島氏、高木氏）楊貴妃（吉住氏、野村氏）竹雪（増戶氏、ヒメ島氏、子岡本氏、秋山氏）舍利（安西氏、韋兒島氏、中村氏）

●今日の歌舞伎座　第五日目の歌舞伎座替り狂言は「伽羅先代萩」にして重なる役割左の如し

千松、仁木彈正（琴時）沖の井、勝元（小花）黑川勘藏、小牧、民部（綱次）腰元、諸士（綱次）同（吉佐）家來（吉松）腰元（花子）同（小なつ）同（松太郎）源吉、八汐、宗仙（竹三郎）鶴千代（政子）腰元（清次）家來（かめ子）諸士（吉次）家來（八重子）松島（小梅）賴兼、高尾加藤太、外記（鐵三郎）政岡（吉三郎）

●仁川內洞のボヤ　仁川內洞居住の金致權方の溫突より一昨日午後六時頃發火し屋上一坪餘を燒失せしが附近の人々驅せ付けて大事に至らず消止たり

●懷中時計を拾ふ　鶴山榮町居住上原善一は一昨十四日日の出町小學校裏門附近に於てニツケル側片蓋子懷中時計一個を拾得して南部署に屆出でたり

●警官の實彈射擊　今十六日午前九時より午後三時まで獎忠壇に於て內部巡査教習生の實彈射擊を執行する筈

●一昨夜の敷島　遊廓登樓客は四十六名此費消高タッタ百十五圓六十錢

各地の新聞

▲**備後尾道の疑獄**　備後尾道市久保町肥料商土屋嘉助、同野村喜兵衛（商業會議所議員）佐々木久右衛門（市會議員兼商業會議所議員）及び土堂町肥料商富安佐助、同喜平事兒玉岩槌の四名は贈賄嫌疑にて十一日其筋に拘引十二日尾道警察署へ留置せられ翌助嫌疑者として取調べられ長柄町和仁健四郎、佐々木商會店員越智常七及び藝妓數名は歸宅を許され又廣島縣肥料檢査員技手竹中五吉は十二日尾道地方裁判所の囑托にて廣島に於て逮捕せられたるが何分連累者は尾道地方屈指の肥料商人なる上關係者多き模樣なるより非常に恐慌を來し斯業團體は額を鳩めて善後策を協議中にて前記四名は尾道分監に收容せられたり

▲**兒殺し母の特赦**　山口縣都濃郡大華村平民農松本しま（三二）は去卅九年七月廿五日自宅に於て女兒を分娩したるがこの兒より兎角家族に不和を生じたる爲め同月卅一日弟勘兵衛方に於て該兒を蒲團に包みて殺害したり此の事何時か其の筋の探聞する處と爲り同年九月十四日遂に山口地方裁判所に於て故殺犯重懲役九年の判決言渡を受け入監し爾來刑の執行猶豫中なりしが行狀善良改悛の狀あり去八日特赦の恩典に依り放免の許可を受けたるが德山署にても同人が出獄するも世人の不信排斥の爲に葬られ重犯に陷る如き事ありては此の大恩典の主旨にも反くを以て出獄の上は充分保護を加へ正道に就かしむべしと云ふ

▲**瀨戶內海の海賊**　岡山縣眞庭郡津田村の船乘業菱川鶴吉（三五）は七日午前七時丸龜を出帆して仲多度郡廣島村に向ひしが潮の都合に依り同郡佐柳島の海岸に碇泊し午後六時より同十二時迄潮待をなし居りしが突然一人の男現れ矢庭に鶴吉を毆打し續いて二人の男現れて鶴吉を取圍み金を出せと迫るより鶴吉は金は一文も持合せなしと答へたるに鶴吉を後手に括つて縮に縛りつけ三人の男は船中隈なく金を搜索したるも一文も無きより在合せたる米一斗餘を強奪し此の由若し警察署へ知らさば是れなりと短銃一發を發射したる上三挺の櫓を押立て悠々と逃走せし鶴吉は十一日此の顚末を丸龜署に告訴に及びたるが件の男は瀨戶內海に出沒せる海賊ならんとて同署にては專ら[illegible]

▲**忍町在の大火災**　埼玉縣埼玉郡忍町在太田村大字下須戶農松本德藏方より一昨日午後三時頃發火し折柄の烈風に煽られ近隣に延燒し居宅十七戶を燒拂ひ五時鎭火したり原因は松本方の妻しげ（三五）が取灰を俵に詰め臺所に置きたるより發火せるものなり

▲**藤公の銅像新鑄**　服部兵庫縣知事以下の諸氏二十餘名十一日午後二時より兵庫縣廳に集り又々藤公銅像建立に就き協議したり舊銅像の建立者は舊銅像を其の儘再建する事に就き異議なけれど伊藤家に於ては引摺廻されたる舊銅像の再建に好まざるの風見ゆとの事に愈〻別に新鑄する事に決し知事は左の委員を指名したり

坪田十郎、鹿島房次郎、渡邊尙、神田兵右衛門、村野山人、谷久保、岸本豐太郎

天氣豫報（自十五日午後六時至十六日午後六時）　西北風晴　十四日（華氏）最高溫度 二〇、五　最低溫度 一〇、六

美術半衿帶上帶締其他組類各種

京城明治町一丁目 金ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歲より十五六歲迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●求職 昨今渡韓の青年拾九歲事務員又は商家に雇れたし氏名在社(四九〇)

●求勤務 病院又は醫院藥局へ ケーチー生(四九三)

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社(四七八)

●貸家 北部齊洞廿九の四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄差上候

●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ

●貸家 吉野町日本式に改築三間押入一間半水道風呂炊事場あり家賃十一圓 氏名在社 四九五

廣告

龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

大勉强 理髮 長崎床 龍山榮町民團役所下四ッ角 塚田

歐米新式高等裁縫 龍山榮町 田口洋服店 電話三一二番

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

入院隨意 龍山新市街山下町 内科 小兒科 眼科 原醫院

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業 龍山老松町 磯口商店 電話一一九番

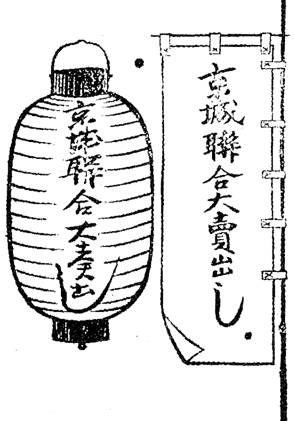
入院隨意 京城壽町三丁目(電話三七八番) 中島醫院 院主醫學得業士 中島貞信



京城聯合大賣出し

歲末に際し顧客各位の愛護を祈り且平素の眷顧に酬ゆると共に市況の繁榮を圖らんが爲十二月一日より同三十一日迄左記の方法に依り全市聯合大賣出しを開催致候間左記の目標を掲げある加入各店にて御買入被成下度此段奉願上候

加入店目標



景品

一等 金三千圓 (債券)
二等 金一千圓 (同)
三等 金五百圓 (同)
四等 金二百圓 (同)
五等 金一百圓 (同)
六等 金五百圓 (各店商品切手五拾本)
七等 金二千五百圓 (各店商品切手貳千五百本)

以下空籤なし

御買上金五十錢毎に景品券一葉進呈仕候

賣出期間 明治四十二年十二月一日より同三十一日まで
抽籤期日 同四十三年一月七日 京城日本人商業會議所に於て各新聞社及公衆立會の上
景品引替期日 同一月八日より同三十一日迄

京城聯合繁榮會
(京城日本人商業會議所内)

▲忘年 新年 宴會は梅の家に限る▼

どんな少數の御宴會でも丁寧に、何程多數の御宴會でも粗愴のなきことは梅の家の獨擅ですから、取り分け忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に、氣樂に召上られます樣に御つとめ申上ますから御光來の榮を賜はり度御願申ます……破天荒の大勉强……

御料理 大和町三丁目(電話七三五) 梅の家

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層勉强致し大目を協約、官制、官規、官等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存し有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り記本に着手可致候間微志に於て隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの此期間に御購入の御方に限り御報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前

貸席 鐵冷温泉

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目 (電話二五一番)

和洋酒、㊞繡醉、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

擴張廣告

今回内地より仲居藝妓四五名を招き板場も腕利者を雇ひ其他料理も兼て御引立に預り難有奉謝候就ては大勉强を以て仕出し仕候に付忘年會新年宴會には何卒御遊旁々御來の程切に奉願上候



京城櫻井町(電話九七八番) 高

精密を旨とし大勉强仕候也

宮内府 博物館 御用

古今美術 書畫表裝 金銀屛風襖洋式天井張

表具 松月堂

壽町二丁目 電話千〇〇三番

熱心研究多年爲斯道於韓微毅奥旨恍然似有得者韻勝素而輕靈也脚推斷腦醉茫洋辭窮悉潤

易斷觀相教授 館主 土御門派大陰陽師

京城本町五丁目 三一館

待春日 合のし之

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一五番)

電話開通 壹三九四番

鋤燒 御一人前 金二十五錢

此の外何んでも輕便ご安直ごを以て御客樣には極て叮嚀ご親切に御つとめ申上ます故に忘年宴會や新年宴會には何卒御遊旁御光來の榮を賜り度奉願候

會席御料理 京城北米倉町 花の家

蒸氣消毒 牛乳 京城大和町一丁目 平山牧場 電話一三二

★株式會社百三十銀行韓國總支店 京城本町二丁目十五番地 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪、

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新湊

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

臺灣 臺北、臺南

韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓

株式會社 十八銀行京城支店
京城南大門通 (電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

日本郵船株式會社 仁川 出帆廣告 電話十番

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三日午前六時出
●大連行 酒田丸 一月三日正午時出
●釜山出帆 元山、浦潮行 立神丸 十二月廿九日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事